

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 引野 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、2年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走・20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

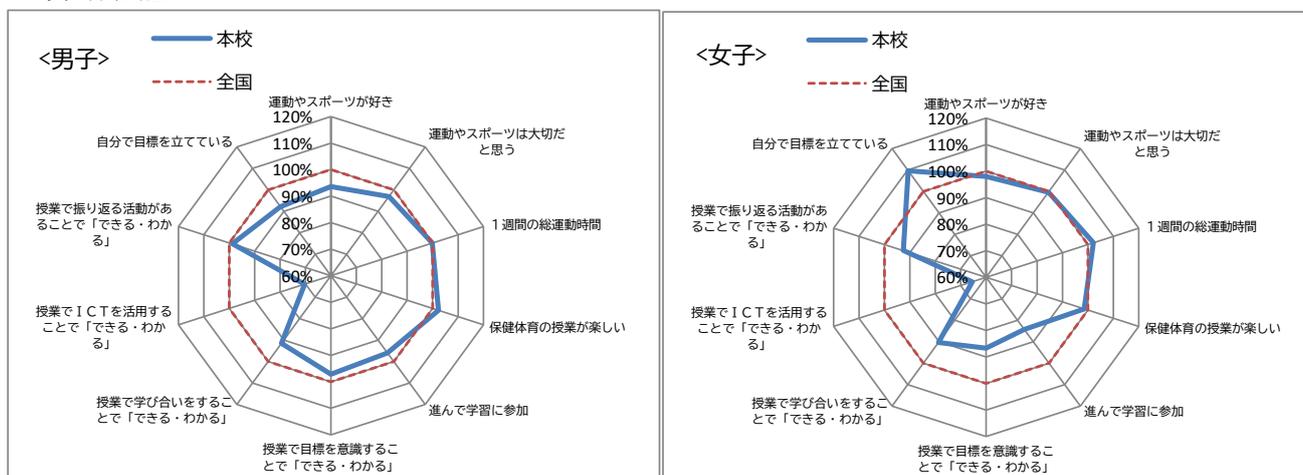
| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 持久走 | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ハンドボール投げ | 体力合計点 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|--------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 28.95 | 25.94 | 44.47 | 51.51 | 410.69 | 78.98 | 7.99 | 197.18 | 20.57 | 41.86 |
| 本市 | 29.93 | 26.34 | 45.51 | 52.15 | 463.01 | 81.17 | 7.88 | 201.59 | 20.38 | 43.31 |
| 本校全国平均以上の種目 | | | ○ | | | | | ○ | | |

<女子>

| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 持久走 | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ハンドボール投げ | 体力合計点 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|--------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 23.18 | 21.56 | 46.47 | 45.65 | 309.02 | 50.67 | 8.96 | 166.32 | 12.40 | 47.37 |
| 本市 | 23.47 | 21.97 | 46.62 | 46.51 | 330.19 | 52.35 | 8.85 | 171.43 | 11.75 | 48.44 |
| 本校全国平均以上の種目 | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- 「1週間の運動時間」が全国平均より少し上回っている。本年度のスクールプランにおける重点目標「運動習慣や運動に親しむ生徒割合の増加を目指す。」取り組みの成果が表れている。
- 授業におけるICTの活用が進んでいないため、ICTの効果的な活用方法を考え積極的に活用を進める。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・互いの気づきを伝え合う場を作り、学び合うことで技能の向上を目指せるような授業づくりに努める。
- ・動画撮影を実技の振り返りに活用するなど、ICTの特性を生かした効果的な活用方法を考え、授業に積極的に活用する。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・授業において、筋力、柔軟性、全身持久力の向上を目指し、帯活動として有効な体操やストレッチ、ランニング等に取り組む。このような取り組みにより、保健体育の授業以外の時間にも手軽に運動できる方法を身に付けさせ、日常的に体を動かす習慣を定着させる。